

山陽新聞に 大型塗装工場が掲載されました!!

地方経済 2024年(令和6年)5月8日 水曜日

栄進金属工業

大型製品の塗装対応

真備工場 受注増へ新棟整備

金属部品加工の栄進金属工業(総社市新本)は、マンション向け宅配ロッカーといった大型製品を塗装する新棟を真備工場(倉敷市真備町市場)に整備した。加工から塗装、組み立てまで一貫した生産体制を整えることで受注増と納期短縮につなげる狙い。4月末から稼働しており、年間1200万円程度の売り上げアップを見込む。



品をハンガー(耐荷重50kg)につるして塗装エリアから

乾燥炉までレールで運ぶ仕組み。ハンガーの通路を広く取ることによって3層四方の大ききまで塗装できるようにした。投資額は約7千万円。3月上旬に完成した。

粉末状の塗料を使う「粉体塗装」、液状の塗料を吹き付ける「溶剤塗装」のいずれにも対応。宅配ロッカーのほか、電車車両用の配電ボックスなどの受

注を想定している。いずれも2時間程度で仕上がるという。

既存の塗装ラインは、狭い空間にレールが張り巡らされており、1層四方ほどの製品までしか対応できなかった。宅配ロッカーなどの要望があっても断った

り、岡山県外業者に発注したりするしかなく、納期の遅れや運搬中の品質低下のリスクが拭えなかった。同社の主力は自動車のバッテリー関連部品で、近年は事務用機や太陽光発電関連部品なども手がける。塗装まで施す製品の売り上げは全体の約2割を占める。三島幸治社長は「これまで引き受けられなかった注文にも幅広く対応できる。新規顧客の開拓につなげた」と話す。

同社は1975年設立、資本金4千万円、売上高約14億円(2023年6月期)、従業員約100人。

(岡崎創史)

